

Title	50周年記念学報発刊にあたり
Author(s)	牧, 祥三
Citation	大阪外国語大学学報. 29 p.1-p.1
Issue Date	1973-02-28
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/80453">https://hdl.handle.net/11094/80453</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 50周年記念学報発刊にあたり

学 長 牧 祥 三

大阪外国語大学の始りは、その前身校である大阪外国語学校が大正11年11月11日に、ここ上本町8丁目の地に創立されたときに発する。その後、昭和19年3月に大阪外事専門学校と改称された時期を経て、昭和24年5月にこれに代って大阪外国語大学が設置されて今日にいたり、今年でちょうど50年の歳月をけみしたことになる。この間、この学校が歩んだ道は決して平穏なものではなく、時代の歴史とおなじく烈しく、きびしいものであった。殊にこの大学にも襲った大学紛争の怒濤は、私たちの学校をまさに極度の荒廃に陥れたことは、人々の記憶にまだ鮮かなところである。

いま、事多かりしこの学校の50年を回顧しつつ、ここに広範な専門にわたる教官たちによる記念論文集が編纂された。それは普通の意味におけるたんなる平素の研究業績の発表と言うべきものとは異なるであろう。およそ古き昔から洋の東西を問わず、何か事を創め、新しい未来をきり開かんと人がする時、かならず行なわれる思惟と行動のさだめられた儀式のパターンがある。それは新しい未来の世界に向う前に、つねに古い過去の世界を顧みることをおこない、これによりみずからの立つ位置をあらためて確認し、そこからあらたなる作業開始の力を汲みあげるのである。この過程では過去回顧は、すぎさりしものへの感傷ではなく、未来創造への欠くべからざる媒介である。いまここに私たちが呈示する記念論文集も、そのような儀式的要素として考えられねばならないであろう。すなわち、大学の50年の歴史の回想を契機にしつつ、各自の今までの研鑽の成果がまとめられて、いまの私たちの方位決定、オリエンテーションがおこなわれ、新しい私たちと、新しい大学の展望がここから開かれねばならない。

いま私たちの大学も、大学教育の危機のなかにあって、解決されるべきさまざまな新しい問題をもっている。それらの問題のチャレンジに、ここに集められた論文集はもちろん直接に対応し、答えるものではない。しかし不断の真摯なこのような研究作業が大学のすべての問題解決と未来創業の力の源泉であることを、あらためて私たちは回顧と展望のなかで知らされるのである。

1972. 9. 1